

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	競艇場（職員）	販売量の動き	・半月ばに大きいレースがあり、その期間中の発売金額が大きくなっている。
		商店街（代表者）	単価の動き	・商店街の通行人数は、過去最低で少なくなっているものの、3か月前はさほどなかった単価の高い物を望む客が、高価でも必要な物は買いつつあり、買い控えの我慢がなくなりつつある層が出てきている。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・客の節約疲れで、消費が上向いている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・単価的には横ばいであるももの、若干ながら月を追って売上が伸びており、3月に入ってかなり状況が良くなってきている。 ・基本的には予断を許さない状況であるが、少しずつ右肩上がりになっている。 ・量販店、一般量販を含めて、全体的に底入れ感を脱出して上がっているという状況である。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・今月は来客数も売上も伸びている。特に女性客の動きが良くなっており、単価もアップしている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・価格競争は激しいものの、先月から販売量が少し増えてきている。こちらから仕掛けているという部分もあるが、動きが少し活発になってきている。
	変わらない	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・1年のうちで最も販売量の多い月であるが、その中でも例年を上回っている。
			販売量の動き	・当商店街では古くからの店の閉鎖が続いているが、そのあとからデフレ対応の店が出てきているため、商業環境が乱れて困っている。 ・イラク情勢はまださほど影響していないが、天候不順の影響で景気が下向き要因になっている。
		百貨店（統括）	販売量の動き	・3か月前に比べて販売量や紳士服、子供服の動きが悪いという状況が変わっていない。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・通常は海外情勢に連動して来客数にも変化があるため、当初はイラク情勢に関しても不安材料があったものの、店舗のリニューアルを行ったこともあり、予想以上に来客数が伸びている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価に変化が見られない。
		スーパー（店長）	単価の動き	・客がより安い商品を求め、チラシに敏感となっているため、対象日以外の売上の落ち込みがひどい。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・以前と比べ競合店のチラシ競争がますます激しくなっている。特に卵、牛乳、食パンなど日配物の価格訴求品の価格が大幅に低下しており、非常に激しい競争価格に変わってきている。 ・無償のプレゼントなども、以前は月に1回程度であったものが、どの競合店も月に2回か3回、あるいは毎週日曜日か土曜日に実施するようになってきているが、そうした状況にもかかわらず、競合他社、自店においても来客数が思うように伸びてきていない。
		スーパー（店員）	単価の動き	・相変わらず安価な物しか売れず、特売の目玉商品の売上数量が増えており、定番の動きは思わしくない。 ・特売日に集中して買う傾向が激しい。
コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・若い男女会社員、中高年男性のいずれの客も、買い得かどうかを思慮し、弁当でもパンでもじっくり内容と値段を見比べて購入するケースが見受けられる。 ・まだ客の財布のひもは固く、欲しい物しか買わない状況が続いている。		
乗用車販売店（総務担当）	単価の動き	・有料のサービス入庫では、値段を数か所に聞いた後、安価なところに依頼するような傾向がさらに強くなっている。		
住関連専門店（広告企画担当）	単価の動き	・金額的に安い物を探す客の数が増えている。		
その他専門店〔書籍〕（店員）	販売量の動き	・イラク情勢に対して景気の下向きということもないので、現状維持の状況が続いている。 ・イラク関係の本も好調で、その点では少し恩恵を受けている。		

	高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・昼間の利用に関してはさほど変化がみられないが、夕食帯の利用客については、団体及び一般の利用が少なくなっている。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・レストランの外来客及び宿泊者以外の利用が依然として低調である。
	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・人事異動等の歓送迎会等団体利用について、官公庁関係者からの予約はあるが、全体として単価が下がってきている。 ・民間企業の歓送迎会は、人事異動があってもやらないというところが増えてきている。
	タクシー運転手	お客様の様子	・送別会がある時期なので、夜の人はあるものの、それが例年のように直接的な売上に結びついていない。
	タクシー運転手	販売量の動き	・先月と同様一番底の状態ではあるものの、例年と同程度の売上があり、客の気持ちも悪いなりに底をついた感がある。
	通信会社(営業担当)	販売量の動き	・春のキャンペーンで、毎週のように週末イベントを実施しているが、会場での成約件数は少ないままである。
	通信会社(管理担当)	販売量の動き	・イラク情勢の影響が出てこないかという心配がある。
	パチンコ店(企画担当)	来客数の動き	・3、4月は転勤、異動の時期でもあり、集客数は若干落ち込むが、今月は例年並みであり、3か月前と比べても大きな変化がみられない。
	設計事務所(経営者)	販売量の動き	・イラク情勢により諸物価の高騰が考えられるため、いろいろな面で投資効果が下がる動きが徐々につつあり、全体的に低下傾向にある。
	設計事務所(職員)	販売量の動き	・個人住宅の新築、改装及びアパート、マンションの建築が多い。
	住宅販売会社(従業員)	単価の動き	・来場者数は若干回復してきているものの、契約単価は低価格水準が続いている。
	住宅販売会社(経理担当)	販売量の動き	・既存の販売物件のうち、高額物件の契約は増加しているものの、契約戸数は伸び悩んでいる。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	お客様の様子	・イラク情勢もあり、マスコミが景気の先行きの不透明感を掻き立てるほど、客は慎重になり財布のひもも固くなっている。 ・本当に欲しい物を低価格で求めようという姿勢がはっきりとみえる。
	一般小売店[菓子](経営者)	お客様の様子	・客単価が低下している。 ・法人への進物が動かない。
	一般小売店[茶](経営者)	お客様の様子	・商店街の中で毎日市を開催する中で、客はいるものの、商品を見るだけで、商品を買う頻度がますます低くなっており、物が売れていないという状態である。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・3月に入り売上が週を追って回復してきたにもかかわらず、イラク情勢の急変により下がってきている。 ・3月20日までは非常に気温が低く、ミセスを中心に婦人靴などの状況が厳しく、過去最悪の数字となっている。 ・3月20日以降は気温も上がり、店頭は軒並みヤングもミセスも持ち直している。 ・外商売上が伸びず、特にハンドバックの外販は、25万円台中心のバッグから19万円台中心のポシェットへと、より単価の低い商品へ移行する傾向がある。
	百貨店(売場担当)	お客様の様子	・例年3月上旬はかなりの客が旅行するため旅行着を買求めている、今年はイラク情勢により旅行する客が少なくなっている。 ・最近持っている物に買い足すだけの傾向が強く、まとめ買いが少なくなってきた。 ・ヤング関係はこれといったトレンドが見当たらず、主力となる商品がないため、かなり厳しい状況である。
	百貨店(売場担当)	お客様の様子	・客はそれまで新しいブランドの高額品でも買い求めていたが、イラク情勢が長引くと予想して、今必要でなければ買い求めないようになってきており、今月中旬から特にその傾向がある。
	スーパー(店長)	お客様の様子	・チラシを使ったバーゲン強化日には来客数が増えるものの、客は本当に必要な物を必要な量しか購入せず、無駄な買物を極力控える状況が続いている。

	スーパー（店長）	単価の動き	・日替わりの目玉商品を買う客が多くなり、単価がどんどん低下しているのに加え、買上点数も徐々に減少してきている。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・衣料、住居関連関係の商品の動きが悪くなっている。
	スーパー（店員）	来客数の動き	・客が土、日に限り、大きいところに行く傾向がみられる。
	スーパー（総務担当）	お客様の様子	・衝動買いは影をひそめ、必要な物の中でも十分吟味し、金額、量目とも最小限に、上限金額を決めて1回で買物をする客が多い。
	乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・依然として来店客のニーズはスモール車であり、高額車の商談はあってもなかなか成約には結びついていない。
	住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・下見の来店が多く、数回来店しても成約に結びつきにくい。
	その他専門店〔時計〕（経営者）	お客様の様子	・イラク情勢がどのようなになるのか、それが日本や景気にどう影響するかという方向に客の目がいており、販売に結びつかない。
	その他専門店〔カメラ〕（地域ブロック長）	来客数の動き	・単価的には高額な物を扱っているため、ほとんどの店で来客数が減少している。 ・売上部門構成にも変化があり、荒利構成も変わり、大幅な利益の減少となっている。
	旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・イラク情勢と東南アジアでの重症急性呼吸器症候群の影響を受けて、人の動きが非常に悪くなっており、受注が極端に落ちている。デフレとあいまって大変な時期である。
	タクシー運転手	お客様の様子	・最近2、3か月の状態だが、総合病院への送迎は自家用車が非常に多くなっており、タクシーの総合病院での客待ち時間が以前よりかなり長くなっている。
悪くなっている	スナック（経営者）	来客数の動き	・今月になり、イラク情勢の悪化や、市議会、市長選挙への動員のため、夜の動きがさっぱりで悪くなっている。
	旅行代理店（団体営業担当）	来客数の動き	・イラク情勢のため、来客数の動きが悪くなっている。
企業動向関連	良くなっている やや良くなっている	-	-
	金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・取引先の多くが受注好調の中、フル操業を継続中である。雇用拡大、設備投資にも前向きな姿勢がみられる。
変わらない	窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・顧客からの注文、需要の波が集中し、生産の多忙感がある。
	輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・例年に比べると引越荷物がボリュームダウンしており、特に15日から月末にかけての需要が若干落ち込みをみせている。 ・イラク情勢との関係で、自衛隊絡みの異動が若干押さえられている傾向がみられる。
	通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・官公庁等の総合ネットワーク構築、拡大等を中心に引き合いはそこそこあるものの、昨年来引き続けている低価格ブロードバンド競争などの影響により、受注数に対して収益が伸びていない。
やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・工場内の稼働率をみても、100%に近く稼働している部署が少ない。 ・1週間先にどのような状況で受注発注できるか確保できていない。
	化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・イラク情勢の緊迫化に伴い、原料であるナフサの価格が上昇しているが、これに対して原料価格上昇分の製品価格への転嫁が難航しているため、収益的に厳しい状況である。
	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注の動きの鈍さに加えて、イラク情勢による油や電力の値上がり、コストに大きく響き始めている。
	鉄鋼業（広報担当）	それ以外	・イラク情勢の影響でガソリン代などが上がっており、今後支障が出る。
	輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・イラク情勢の影響により、欧州向けの船便が減少しており、年間を通して最も受注量の多い月であるにもかかわらず、受注量が減っている。

		その他製造業 [スポーツ用品] (総務担当)	受注量や販売量 の動き	・ 本社からの商品の発注割合が中国産にシフトしてきているため、国内の生産工場への発注が減っていることに加えて、国内産のコストについても低減が求められている。
		建設業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・ 手持ちの仕事量が減っている。
		広告代理店(営業担当)	取引先の様子	・ 取引先の設備投資や求人が思わしくなく、広告の出稿に響いている。
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている			
	やや良くなっている	新聞社[求人広告] (担当者)	求人数の動き	・ 求人広告は、新聞、チラシともやや上向いている。新規広告主も目立ち、持ち直し感が出てきている。
	変わらない	新聞社職員[求人広告] (広告営業担当)	周辺企業の様子	・ 求人広告の依頼は、以前と比べてわずかながら増加傾向がみられるものの、基幹企業の好転がいまだみられない。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・ 新規求人は電気機械器具製造業からの求人が10か月ぶりに減少に転じる一方で、卸売業からの求人が増加し、総じて横ばいで推移している。
		民間職業紹介機関(職員)	求人数の動き	・ 求人依頼は入ってくるものの、求人背景をヒアリングすると、正社員を雇用せずに工場内をパート化したり、雇用維持のために退職金制度を廃止するなど、明るい材料がみえてこない企業がある。
	やや悪くなっている	人材派遣会社(支店長)	求職者数の動き	・ 求人数に対して特に40代以上の求職者数が非常に多くなっており、リストラが非常に増えている。
		職業安定所(職員)	求職者数の動き	・ 3月初頭に運送会社で倒産、工作機械メーカーで人員整理があり、横ばいで推移していた新規求職に増加傾向がみられる。
学校[大学] (就職担当)		周辺企業の様子	・ 求人を行う会社の数は減少してはいないものの、各社の構成員数の減少が記録的に甚だしく、今後も大幅な求人増加は望めない。	
悪くなっている				